



がんばっ
とるよ！

井笠の農業

表紙写真の説明

⑤	①	① 農作業安全について講習会で周知（全域）
⑥	②	② ぶどう講習会（井原市）
⑦	③	③ ぶどう講習会（笠岡市）
	④	④ 新農業経営者クラブによる視察研修会（笠岡市）
		⑤ いちご共励会（笠岡市）
		⑥ 出荷を待つピオーネ（井原市）
		⑦ たまねぎ収穫調査（矢掛町）

～ 目 次 ～

ぶどう新規栽培者のスキルアップとシャイン房形のレベルアップへ👍👍	1～2
産地に広がる新規就農者の力！	3
農業制度資金を上手に活用して経営改善を！	3
スマート農機の研修会を開催（井笠地域稲作経営体ネット）	4
井笠地域で6次化事業者が増えています！	4
「井笠地域いちご研究会」設立	5
相互訪問でたまねぎの育苗研修	5
雨よけ栽培でアスパラガスの安定生産！	6
井原駅でりんどうを中心とした井原市の花をPR	6
テグスでカラス撃退（part 2） その効果と改善事例	7
もも掛け袋の種類集約を目指して	7
イアコーンサイレージってご存じですか？	8
新任農業士（令和5年度）の紹介	8
受賞のお知らせ	9～10
新規就農者の紹介	10

ぶどう新規栽培者のスキルアップとシャイン房形のレベルアップへ👍👍

○新規栽培者の栽培技術がメキメキ向上

井原市を中心にぶどうの新規栽培者が増加しており、普及指導センターは、各地域の先輩農家による実践的な指導と連携し、栽培に関する基礎知識習得や技術向上を支援しています。

県研修制度を活用する研修生は、年間を通じた講習会で技術習得に取り組み、一部地域では品評会に参考出品することでモチベーションアップに繋がっています。

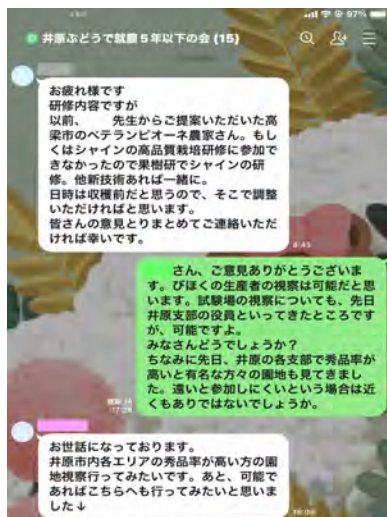
就農5年以下の新規栽培者は、重点指導対象に位置づけ、独自の講習会、視察研修会、個別重点指導を実施しています。今年度新たに、新規栽培者同士をLINEで繋げて仲間づくりを推進したことで、地域内でのつながりが増え、効果的な指導に役立っています。



研修生を対象とした講習会（井原）



新規栽培者を対象とした講習会（笠岡）



LINEでの意見交換（井原）



新規栽培者の個別重点指導（矢掛）

★実務研修生の感想★

- ピオーネの基礎技術を学べた
- シャインマスカットの栽培を実践できた
- 市の品評会に参考出品できた

★新規栽培者の感想★

- LINEで参加しやすくなった
- 気軽に質問できて良かった
- 希望通りの視察研修会で満足
- 前年より出荷量を増加できた

○シャインマスカットの大粒化による房形改善対策の実証

笠岡市では、シャインマスカット栽培におけるこまめな副梢管理が、果粒肥大と房形に及ぼす影響について調査しました。

その結果、副梢管理をこまめに実施した区（試験区）の方が果粒は大きくなり、果粒の間に隙間が少ない締まった房になりました。一方で副梢を放任した区（放任区）は、果粒肥大や房形が劣ったことに加えて糖度もやや低く、未熟粒混入症（通称：石ブドウ）が発生するなど品質の低下がみられました。

こまめな副梢管理は労力の必要な作業ですが、天候による影響を抑えながら高品質生産につながることから、普及拡大を図っていきます。

実証の内容

副梢管理（○）の方法	満開2週後	満開4週後	満開7週後	以後収穫まで
試験区	○	○	○	2週間ごと○
放任区	○	放任	○	放任

収穫調査のデータ

	正常 果粒重(g)	未熟粒混入症 発生房率(%)	糖度 (Brix%)	肩部空き 粒数(粒/房)
試験区	15.6	0	18.0	2.5
放任区	14.5	40	17.5	3.7



副梢管理後のトンネル内



副梢管理して2週間後のトンネル内



収穫果実（上段：試験区、下段：放任区）



未熟粒混入症の発生房（点線囲み：未熟粒）

産地に広がる新規就農者の力！

井原市（ぶどう）と矢掛町（ぶどう、アスパラガス）では、生産組織と関係機関が連携して新規就農希望者の受入体制を整備し、新規就農者の確保に取り組んでいます。

県内外での就農相談会を通じた新規就農研修生の募集により、就農オリエンテーションでは9組9人の現地訪問を受け入れました。現在、井原市で5人、矢掛町で1人が農業実務研修に取り組んでおり、全員が令和6年に就農する見込です。また、平成25年から井原市で13人、矢掛町で4人が研修後に就農し、品評会で優秀な成績を修めるなど、新規就農者の活力が産地の活性化に結びついています。



就農オリエンテーションでの説明



実務研修生研修会の様子

農業制度資金を上手に活用して経営改善を！

令和5年度の農業近代化資金の借入は14件（11/1 現在、審査中含む）で、スーパーL資金や就農資金等も利用されています。



開業・新規作目の導入、規模拡大や効率化・省力化など経営発展を目指した前向きな用途が多く、経営の安全性向上のための運転資金の確保などにも活用されています。

融資の活用にあたっては、特に、借入申込書の収支計画の作成に使われる数値の精査が求められます。農業簿記により作成した決算書をよく見直し、収支計画の中に経営の変化・将来の姿を投影させることが肝心です。

制度資金活用のためのポイント（融資審査の視点）

経営の把握

- ・ 経営能力はどの程度か？
- ・ 収支・財務に問題はないか？



課題・対策の整理

- ・ 計画は当を得たものか？
- ・ 技術・経営力から達成可能か？
- ・ 過大投資ではないか？



実行可能性の検証

- ・ 収益見通しに無理はないか？
- ・ 既往債務も含め償還可能か？
- ・ 価格変動等へ考慮があるか？

経営の発展をお考えの方は、農業制度資金の活用も併せてご検討ください。

スマート農機の研修会を開催(井笠地域稲作経営体ネット)

大規模稲作農家や集落営農組織を中心に近年増えている水稻の直播栽培では、出芽・生育を揃え収量を安定させるために、ほ場の均平化が重要です。そこで、そのための機械として、人工衛星を利用するGPSレベラーの実演会を行いました。井笠地域ではまだ導入事例はありませんが、今後、直播栽培の拡大に伴い必要性が高まるものと思われます。

また、畦畔除草の省力化対策として、コンパクトサイズの比較的低価格のリモコン草刈機の実演を行いました。最大斜度約35°、斜面長4m、イネ科雑草主体の畦畔でしたが、スムーズに除草ができました。

今後も研修会を通じてスマート農機の紹介、普及推進を行います。



ほ場を均平化するGPSレベラー



リモコン草刈機の作業を注視する参加者

井笠地域で6次化事業者が増えています！

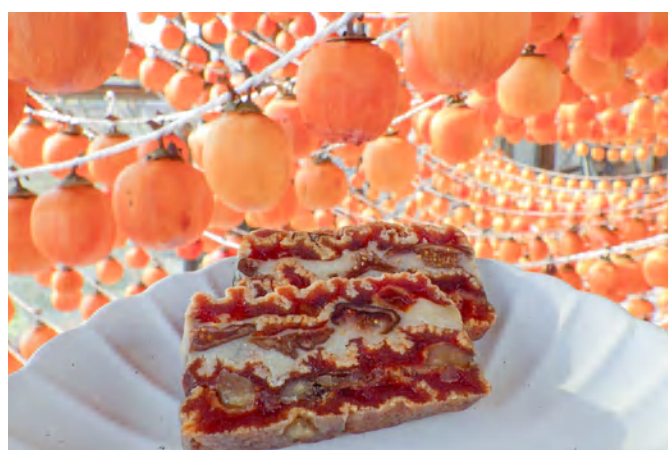
本年新たに2つの事業者が「6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画」の認定を受け、6次産業化に取り組んでいます。

「株式会社Farm Luckyhon」は、牛の飼料を自社で作る循環型の酪農業を営んでおり、生乳を使用した6次産業化をスタートしました。「土井農園」は、専門家と連携して「最上干柿さいじょうほしがき」にクリームチーズや自家製ドライイチジクを重ねた「柿重ね」の商品化に取り組みました。

普及指導センターは、認定に向けた計画書の作成や、地元農産物を活用した商品づくり、新たな客層への販路拡大を支援しました。



濃厚な味わいのジェラート



お酒にも合う柿重ね(カット)

「井笠地域いちご研究会」設立

管内のいちご生産者に呼びかけ「井笠地域いちご研究会」を設立し、第1回研究会活動として先進地視察研修会を6月1日に開催しました。

視察研修では、(株)みのる産業のいちご育苗施設や県農業研究所を視察し、いちごの親株管理や育苗方法の知見を得ることができました。研修後の出席者アンケートでは、「コロナ禍で視察ができず、生産者との交流もできていなかったのも、よい機会だった。今後も実施してほしい。」と好評でした。継続的な研究会活動を通じて、会員間の交流と栽培技術の向上を目指し、いちご栽培を支援していきます。



(株)みのる産業(赤磐市)での研修



県農業研究所(赤磐市)の育苗を視察

相互訪問でたまねぎの育苗研修

井笠地域では、水田、畑地という異なる地目でたまねぎが栽培されており、機械定植に適した良苗生産が共通の課題となっています。育苗では、かん水や施肥の頻度・量、病害虫の防除など様々な技術が必要であり、また近年、育苗期の秋に高温の日が多く、良苗生産に厳しい状況となっています。

そこで、普及指導センターの呼びかけにより、生産者と関係機関で相互見学を行う育苗研修会を開催しました。現地では生産者同士の活発な意見交換が行われ、各生産者の育苗管理の工夫やポイントについて学びました。



ほ場で意見交換

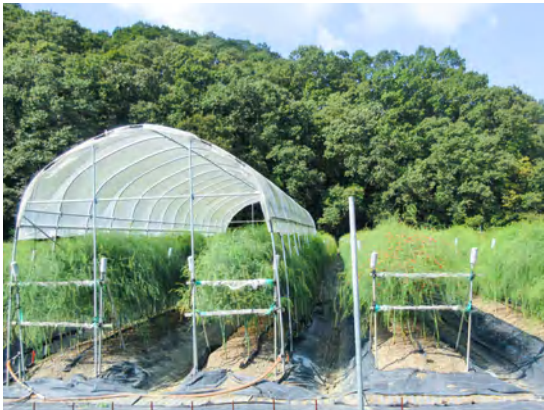


普及指導センターが育苗のポイントを説明

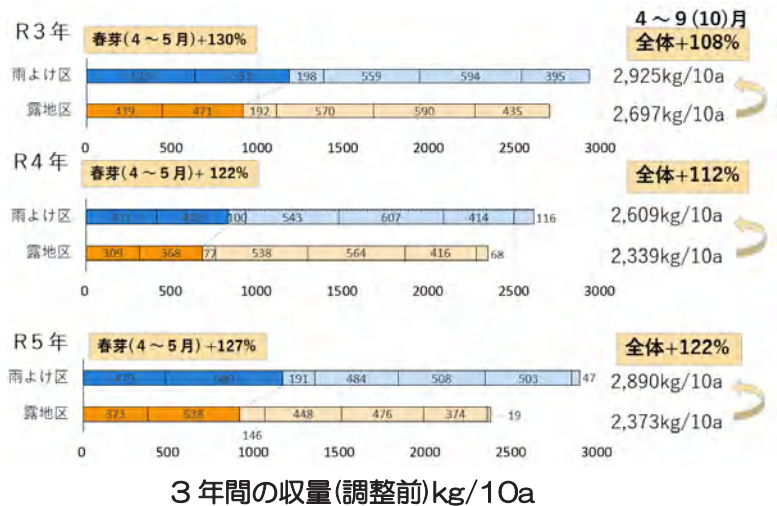
雨よけ栽培でアスパラガスの安定生産！

矢掛町のアスパラガス産地は、露地栽培が中心で、降雨で広がる茎枯病による収量低下が問題となっています。そこで、普及指導センターではハウスよりも導入コストが低い雨よけ栽培実証を令和3年から行ってきました。

実証結果によると雨よけ栽培は、病害低減効果や増収効果があり、特に単価の高い4～5月の春芽の収量は、露地栽培の2～3割多くなりました。雨よけでは乾燥しやすいため、かん水量が多く必要ですが、病害による株の傷みを少なくでき、10年以上収穫が続くアスパラガスの安定生産に繋がります。また、茎枯病に対する農薬散布における回数や労力削減も期待できます。



2畝を被覆する雨よけハウス



井原駅でりんどうを中心とした井原市の花をPR

井原市花卉部会では、令和3年度から井原市役所ホールで、地域の方に井原市で栽培されている花を知り、興味を持ってもらうためにPR展示を開催しています。

本年は、より多くの地域の方に見ていただくため、井原鉄道井原駅で8月11日から13日まで、栽培を推進しているりんどうを中心とした切り花の展示を行いました。駅構内で販売されている市特産のデニムのインディゴブルーとりんどうのブルーが絶妙なコラボレーションを醸し出しており、りんどう栽培啓発資料も例年よりも多くの方が手に取られており、多くの方に井原市で栽培されている花を知ってもらえました。



りんどうを中心とした展示

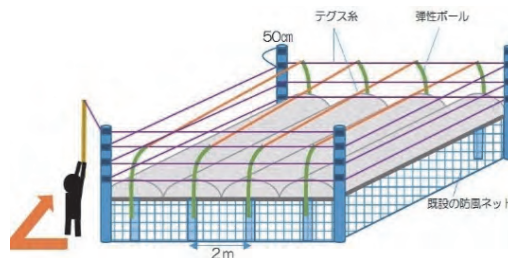


りんどう栽培啓発資料

テグスでカラス撃退(part2) その効果と改善事例

昨年度、当情報誌で、ぶどうのカラス被害対策としてテグスを利用した侵入防止策（農研機構が開発した「くぐれんテグスちゃん」をぶどう園向けにアレンジ）を紹介しました。

本年度、井原市青野町でこの対策をした6人中5人で高い効果があり、満足な結果が得られました。被害が発生した1人についても、①太い弾性ポールに取り替える、②園地周囲にもテグスを張るなどの改善をしたことで効果を実感できました。また、テグス張りの道具も改良され、より使い勝手がよくなりました。



ぶどう園地での設置模式図



農研機構
「くぐれんテグスちゃん」
標準作業手順書



改善前

改善後

弾性ポールが細い
→×ポールが園地内に湾曲
×テグスが園地内で中だるみ



スロッパー
装着

滑り改善

粘着クリーナーを利用した
テグス張りの道具の改良事例

もも掛け袋の種類集約を目指して

JA 晴れの国岡山浅口果樹出荷部会では、機械選果する14品種のももについて6種類の掛け袋（以下、袋）を使用しています。生産者より、袋の種類が多くて管理が煩雑との意見が増えたため、袋の種類集約を目指して、「夢あさま」と「川中島白桃」（いずれもツートン撥水を使用）について既存の袋で比較試験を行いました。両品種とも有望な袋として、「清水白桃」で使用している袋（オレンジ撥水）は果実品質が良好で着色も少ない袋として選定され、令和8年度から袋を5種類に集約することになりました。



「夢あさま」(左)と「川中島白桃」(右)
(上: 選定袋、下: 慣行袋)

調査結果

品種	袋	果実重 (g)	糖度 (Brix%)	変形果率	着色程度
夢あさま	選定袋	247.1	13.6	少	少～中
	慣行袋	242.9	13.9	少	中～多
川中島白桃	選定袋	340.4	13.9	少	中～多
	慣行袋	354.1	14.6	少	多～甚

※選定袋：オレンジ撥水（140×190 cm、無底）

慣行袋：ツートン撥水（142×190 cm、無底）

いずれも小林製袋産業（株）製

イアコーンサイレージってご存じですか？

国産濃厚飼料の一つとして期待される「イアコーン」とは、飼料用トウモロコシの雌穂（英語で ear（イア））のことです。イアコーンサイレージでは、雌穂は飼料として、残った茎葉は緑肥として利用します。野菜農家のほ場で栽培することにより、緑肥による有機物供給や土を柔らかくし水はけをよくする、という土壤改良効果が期待されるとともに、畜産農家はイアコーンサイレージの収穫により牛の餌代を削減することができます。

今年度は笠岡湾干拓地の野菜農家ほ場 3ha で試験栽培を行い、35 個（約 600kg/個）のロールを収穫し、同じ干拓地内酪農家の牛が喜んで食べています。今後も耕畜連携の一環としてイアコーンサイレージの普及・定着を支援していく予定です。



専用アタッチメントを装着した収穫機



短く切断された茎葉は緑肥として利用される

よろしくお祈いします ～新任農業士(令和5年度)の紹介～



氏名	いとう かずひろ 伊藤 一弘 さん
住所	井原市美星町
経営作目	果樹（ぶどう）

経営面での取組

平成 23 年に 1 ターンによる新規参入で就農しました。現在は、約 90a を栽培（ピオーネ、シャインマスカット他）し、加温ハウスと簡易被覆栽培を組み合わせた栽培体系により労働分散を図るとともに、高品質生産に努めています。そして、近年は加温ハウスに自作の温度通知システムを導入するなど、スマート農業技術にも関心があります。

農業士としての抱負

これから農業士会で多くを学び経験を積んでいきたいと思えます。若手が増えている中、彼らと共に地域を活性化し次に繋げられるようにがんばります。

第 63 回 岡山県農林漁業近代化表彰（園芸部門）

岡山県農林漁業近代化表彰は、県と山陽新聞社との共催で、近代的な経営を行い、地域農林漁業発展の先駆けとなっている優秀な団体等を表彰するものです。

（有）エーアンドエス（笠岡市）



大平 貴之社長

功績概要

笠岡湾干拓事業により整備された、大規模区画の農地と畑地かんがい施設を利用し、加工・業務用野菜（キャベツ、たまねぎ）の大規模栽培を行う県内有数の農地所有適格法人です。大型機械やたまねぎの集出荷貯蔵施設（冷蔵庫含む）を整備し、また、スマート農業や自社での一次加工にも取り組み、省力化による規模拡大のほか、品質向上や長期安定出荷、経営改善を図っています。

県内外からの視察も多く、他産地への栽培技術の波及に大きく貢献しています。

第 56 回 岡山県農林漁業功労者表彰

岡山県農林漁業功労者表彰は、農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著で優秀な個人又は団体を表彰するものです。

岡山県部長表彰（農産部門）

なかつか まさひこ
中塚 正彦さん（井原市）



功績概要

平成 22 年に企業退職後就農され、栽培体系と品種を組み合わせ、作業分散と長期出荷により 90a を栽培し、模範的な農業経営を実現されました。

令和元年からは JA 晴れの国岡山井原市ぶどう部会美星支部支部長と冬ぶどう研究会会長に就任され、新技術の導入や冬ぶどうのブランド化、新規就農者の受入体制の整備や園地と住居の確保に尽力するなど、産地の活性化に大きく貢献しています。

<令和5年度岡山県花き共進会>

最優秀賞（岡山県知事賞）

はらだ ゆきえ
原田 幸枝さん（井原市）

<令和5年度岡山県うまいくだもの共進会>

「シャインマスカットの部」

全農岡山県本部運営委員会会長賞、新人賞

まつうら まさとら
松浦 正虎さん（笠岡市）

<第62回岡山県枝肉共進会>

「肉豚の部」

岡山県農林水産部長賞

岡山JA畜産（株）美星農場（井原市）

よろしくお願ひします

新規就農者の紹介

40歳未満または県の研修制度を活用して就農された方を紹介します。

おおしま ゆか
大島 由佳さん（笠岡市） 作目：レモン

岡山で看護師をしていましたが、結婚を機に笠岡へ移住しレモン農家を始めました。レモンを笠岡の特産品にできるよう、様々な方の力を借りながら子育てと両立して頑張ります。

ひがしやま みつひさ
東山 弥央さん（笠岡市） 作目：ぶどう

会社員として働いていましたが、「自分で何かを作りたい」と考えていました。高齢になった祖父母が作業が厳しくなってきた事もあり、ぶどうを引き継ぐことにしました。毎年、高品質なぶどうができるように頑張ります。

おがわ としあき
小川 俊明さん（井原市） 作目：ぶどう

以前断念した岡山でのぶどう作りをどうしてもやりたく、家族を巻き込み、妻・息子と3人で和歌山から岡山に移住し、家族との時間が取れ、大変楽しくぶどう農家をしております。早く師匠のような素晴らしいぶどうを作れるように頑張っていきます。

なす ひろゆき
那須 弘幸さん（井原市） 作目：ぶどう

東京でサラリーマンをしていましたが、地元の名産であるぶどうを作りたいと一念発起し、Uターンで移住しました。地域の方々のアドバイスを頂きながら、高品質のぶどう作りを目指しています。

お問い合わせ

作物、果樹、野菜、担い手に関すること

井笠農業普及指導センター

TEL (0865) 69-1652・1653・1655

経営、花き、6次産業化に関すること

備南広域農業普及指導センター

TEL (086) 434-7047

畜産に関すること

農畜産物生産課畜産第一班

TEL (086) 434-7033

岡山県備中県民局農林水産事業部

井笠農業普及指導センター

〒714-8502 岡山県笠岡市六番町2-5
担い手・農産班 TEL (0865) 69-1652
園芸班 TEL (0865) 69-1653
TEL (0865) 69-1655
FAX (0865) 63-6345

HP <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/101/>
e-mail ikasa-fukyu@pref.okayama.lg.jp

ホームページ

井笠普及

検索